

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【公開番号】特開2016-61991(P2016-61991A)
 【公開日】平成28年4月25日(2016.4.25)
 【年通号数】公開・登録公報2016-025
 【出願番号】特願2014-190851(P2014-190851)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z

G 0 2 F 1/1333

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月23日(2017.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

表示モジュール50Nは、映像を表示する。フレーム11Nは、表示モジュール50Nを保持する。フレーム11Nは、表示装置100Nの縁の部分に設けられるフランジフレームである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

カラーフィルター基板およびTFT基板の各々は、ガラスなどで構成される絶縁性基板である。カラーフィルター基板は、基板上に、着色層(カラーフィルター)、遮光層、対向電極等が形成されたものである。また、TFT基板は、基板上に、薄型トランジスタを含む画素電極等が形成されたものである。以下においては、薄型トランジスタを、「TFT(Thin Film Transistor)」ともいう。TFTは、基板上に設けられたスイッチング素子である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0112

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0112】

フレーム11Aが、フレーム9と係合するフレーム7に固定されるように、ねじNJ2が、穴11h, 7h, 9hに挿入される。すなわち、ねじNJ2により、フレーム11Aと表示装置100Aとが締め付け固定される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0115

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0115】

本実施の形態では、実施の形態1の表示装置100に固定構成STcを適用した構成について説明する。図8は、本発明の実施の形態2に係る、固定構成STcを適用した表示装置100の断面図である。固定構成STcでは、フレーム11に、溝V2が設けられる。溝V2は、硬化性樹脂32を使用して、フレーム11を筐体12に固定するための溝である。硬化性樹脂32は、硬化性樹脂31と同じ性質を有する部材である。